

情報公開用文書（附属病院で実施する医学系研究）

（多施設共同研究用）

西暦 2021 年 4 月 15 日作成 第 1.0 版

研究課題名	子宮頸がんの腫瘍微小環境の免疫学的因子の解析
研究の対象	2019年1月1日～2021年1月8日までに子宮頸がんと診断され、円錐切除術または子宮摘出術を受けた方
研究目的 ・方法	子宮頸がんにおける、病態進行や治療に伴う腫瘍微小環境の変化を免疫細胞、および腫瘍細胞の細胞生物学的および時空間的解析を行い、免疫療法の可能性を検証することを目的としています。研究の対象となる方では、すでに治療により採取されている血液や組織を用いて、腫瘍免疫に関わる種々の免疫細胞や分子の解析を行います。
研究期間	西暦 2020 年 9 月 17 日（承認日） ～ 西暦 2030 年 9 月 30 日
研究に用いる 試料・情報の 種類	情報：患者さんの年齢、発症年齢、既往歴・合併症、家族歴、術前の病期、手術情報、術前検査によって得られる臨床検査所見、画像所見、術後病理検査結果、治療内容、治療経過、その他の合併症発生有無と経過 試料：過去に採取されている、血液や手術・生検で摘出した組織等
外部への 試料・情報の 提供	情報の提供は、横浜市立大学附属病院産婦人科および共同研究機関の理化学研究所生命医科学研究センターの間で、匿名化したデータにパスワードをかけて授受します。また上記により得られた試料は、匿名化した後に理化学研究所生命医科学研究センターにて解析を実施します。 なお、研究対象者の個人情報横浜市立大学附属病院産婦人科内でのみ取り扱い、理化学研究所生命医科学研究センターでは匿名化された情報および試料のみを取り扱います。これらの情報および試料は理化学研究所生命医科学研究センターでは、本研究にかかわる研究者以外がアクセスできないよう保管を行います。また、集積した試料及び解析データは、研究終了後 5 年間保存した後に個人が特定できないよう紙媒体はシュレッダーにかける等して廃棄し、電子情報はハードディスクより抹消します。試料は研究終了から 5 年間保存後に、感染性廃棄物として廃棄します。
外部からの 試料・情報の 取得と保管	外部からの試料取得はありません。 理化学研究所生命医科学研究センターで解析されたデータは、横浜市立大学附属病院産婦人科と理化学研究所生命医科学研究センターの間で、上記方法により匿名化されたデータにパスワードをかけて授受します。

研究組織	横浜市立大学附属病院産婦人科 宮城 悦子 事務局 平原 裕也 横浜市立大学附属病院病理診断科・病理部 藤井 誠志 理化学研究所生命医科学研究センター免疫細胞治療研究チーム 藤井 眞一郎
<p>本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。</p> <p>ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先まで電話またはFAXでお申出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはございません。</p>	
<p>問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：</p> <p>〒236-0004 横浜市金沢区福浦 3-9 横浜市立大学附属病院 産婦人科 （研究責任者）宮城 悦子 電話番号：045-787-2800（代表） FAX：045-787-2931</p>	